

# な な い ろ

## 虹色全開 シロ学年

～自分で責任を持って行動する、気が利く、あったかい学年～

川口市立戸塚中学校

46期2学年通信 No.12

令和6年4月20日(土)

## 第一回 46期生 成長会議

時折、「中学2年生はなかなか難しい年齢ですね」という声を聞くことがあります。その声にお応えして今回は「第一回 46期生 成長会議」ということで、保護者会の時間を少しだけ頂戴し、学校と家庭で歩調を合わせて進んでいける機会になればと思います。何かのお役にできれば幸いです。本日は特に以下の2つの点を一緒に考えていければと思います。

### ◎ 2年生とはどんな特色をもつ学年でしょうか

大きな制服に身を包み緊張の中迎えた入学式から1年が経ち、2年生になると肉体的にも、また精神的にも大人びていることに気がつくことでしょう。13年間の歴史をもつ保護者の皆様だからこそ、気づく変化も大いにあると思います。

このころから高校生にかけて、青年前期としての特徴である心理的離乳（年齢的に個人差があります）が始まり、何事も反抗的で、扱いにくい年代になってきます。

しかし、これは人間として、子どもから大人への過程で、強弱の差はありますが、だれもが経験するものです。保護者としてはこのころの子どもの心理的特徴をつかんでおくことが大切です。以下が主な心理的特徴とされるものです。

- ・ このころの子どもは、物事の決定や行動を自分でしたいという強い意志を持つ。
- ・ 保護者に支配されたくないと思っているが、保護者を意のままに動かそうと思っているわけではない。
- ・ 保護者よりも友だちとの強いつながりを望んでいる。
- ・ 自分のことは自分で決めたり、保護者の言うことを疎ましく思うようになるが、相談相手としては年上の人、特に保護者を求めている。

これらのことは、自分のことは自分で決め、行動したいという自立心が芽生え、保護者からあれこれ指図を受けたくないと思っているあらわれです。しかし、もう一人で、何でもやっていけるというのではなく、最終的には自分で決めるにしても、保護者をおおいに頼りにもしているのです。

このような心理的特色を理解し、2年生以降の子どもと接していきましょう。学校生活では、

- 中堅学年としての自覚を持って、責任ある行動をとらせる。
- 新しい学級になった場合は、1日も早くみんなで協力し合える学級、明るく活発な学級をつくれるように努力させる。
- 日常の行動や学習、健康で安全な生活についても、1年生のときを振り返り、よりよい態度や習慣などを身につけるよう努力させる。
- 「将来の進路」については、1年生のときの進路希望や進路計画をより自分にふさわしいものにさせ、そのために、2年生で学習する「上級学校」の様子を深く理解し、自分の適性や特色をできるだけ知るよう努めさせる。

などの視点から、充実した学年となるように、子どもに援助やアドバイスをしてみてください。

## ◎ 2年生での生活を充実させるために、心がけさせることはなんですか

この学年を充実させるためには、どのように過ごしていけばよいかについて、次の点を参考に子どもとともに考えて欲しいと思います。

### △ 中だるみの気持ちをなくさせる

2年生は中学校生活を1年間経験してきましたので、生活に慣れ、いろいろな面でゆとりが出てきます。しかし、反面、慣れが気持ちのゆるみとなって現れたり、また、3年生になるまで時間があることから、生活に張りをなくしてしまう傾向があります。そこで、まず、気持ちのうえからしっかりした考えを持たせていきたいところです。

### △ 2年生での目標を持たせる

学校生活はもちろんのこと、家庭や地域での生活についても考えさせてください。

## < 一緒に考えたい4つの観点 >

### ① 各教科の学習の仕方

2年生になると、教科の好き嫌いや得意・不得意などいろいろ出てきますので、嫌いな教科、不得意な教科を克服するための方法を考えさせてください。また、教科全体にいきわたる無理のない計画を立てさせて欲しいと思います。充実した学習をさせるために、次のような点について考えさせてはどうでしょうか。

○今までの学習生活(学校、家庭)について振り返らせる。

○学習の方法を工夫させる。ノートの取り方・授業中での取り組み方・予習と復習の仕方・計画の立て方・友だちの方法を学ぶ。

○苦手な教科をなくさせる。

### ② 学校行事や部活動などへの積極的な参加

これらの活動は、集団をとおして人間関係を学ばせる(いろいろなルールや、友だち、上級生、下級生との人間関係)もので、子どもを人間的に成長させる意味で大変重要であり、子どもが大人になって社会や会社の組織のなかで活躍するためには欠かせないものです。これらの活動の中で、いろいろな人間関係や生き方を学んでいくもので、将来、社会に出てから役に立つとともに生涯学習の基礎となる場合もあります。

### ③ 生活態度や生活習慣の改善

遅刻、忘れ物、ルール違反など、学校生活で許されても、社会では許されない場合がけっこうあります。学校は社会へ巣立つための訓練の場でもあり、好ましくない生活態度や生活習慣は早めに直しておきたいものです。とくに家庭と教員が同じ方向を向いて子どもに伝えていくことが成長への確かな手助けとなります。

### ④ 家での仕事の役割分担

家庭では家族で成り立っていますので、各人が仕事をする必要があることを理解させておいてください。またテレビを見る時間やスマホを使用する際のルール、自由時間、勉強をする時間を決めさせたりして、まずは学習の習慣をつけさせてください。さらに私たちの生活は、地域社会との関わりの中で成り立っています。そのために、ボランティア活動など地域の活動に積極的に参加させていくことも集団生活を学び、大人への過程として大切なこととなります。

中学校2年生という時期は、子どもから大人へ変わろうとする不安定な時期であり、それと同時に非常に頼もしく感じる事ができる大きな成長を遂げる時期です。「できる」という経験を多く積ませるためにも任せるところは任せつつ、伝えるべきところはしっかりと伝えつつ、その成長を温かく見守っていければと考えています。どうかよろしく願いいたします。

46期教職員一同

※今後の予定

○6/4(火) 確認テスト      ○6/12(水) 水上自然教室保護者説明会

○8/2(金) 水上自然教室事前指導のため準備登校(午前中のみ登校となります)